

日 誌 (昭和48年3月)

【国 内】

- 2日 ○日本銀行、準備預金制度の準備率再引上げを決定(16日から実施、「要録」参照)
○大蔵省・日本銀行、欧州為替市場閉鎖に伴い、東京外国為替市場を閉鎖(19日再開)
- 14日 ○政府、円の変動相場制移行に伴う緊急中小企業対策を閣議決定
- 22日 ○事業債の発行条件改訂(「要録」参照)
- 31日 ○日本銀行、公定歩合の0.75%引上げを決定(4月2日から実施、「要録」参照)
○昭和48年度一般会計暫定予算、政府案どおり可決成立(「要録」参照)

【海 外】

- 1日 ○西ドイツ、居住者債務に対する最低準備率の引上げを決定(即日実施)
○ベルギー、過剰流動性吸収措置を再強化
- 2日 ○欧州各国、外国為替市場を閉鎖(スイスは閉鎖せず)
- 3日 ○フランス総選挙(第1回投票)
- 4日 ○EC閣僚理事会、当面の通貨危機対策を討議
- 6日 ○米国政府、石油製品価格引上げを再規制
○英国政府、1973年度予算案を発表
- 7日 ○西ドイツ、第1回安定国債発行を決定(売出し期間12～16日)
- 8日 ○EC閣僚理事会、拡大G-10蔵相会議に臨むECの共通態度を討議
- 9日 ○拡大G-10蔵相会議、当面の通貨危機対策を討議
- 11日 ○フランス総選挙(第2回投票、与党、議席の過半数を確保)
- 12日 ○EC閣僚理事会、共同フロートなどEC独自の通貨危機対処策を決定
- 14日 ○西ドイツ、マルクの3%切上げを決定(19日から実施)
○バングラデシュ、アジア開発銀行に加盟
- 16日 ○拡大G-10蔵相会議、コミュニケを発表
○フランス、為替管理強化措置を発表
○デンマーク、為替管理令を改正
- オランダ、ネガティブ・インタレストの導入を発表(26日から実施)
- バングラデシュ、ラーマン新内閣成立
- 17日 ○ベルギー、ネガティブ・インタレストの導入を決定(19日から実施)
- 19日 ○欧州各国、外国為替市場を再開
- 20日 ○スウェーデン、短資流入抑制措置を発表(21日から実施)
- 21日 ○オーストリア、最低預金準備率の引下げ(4月1日から実施)等を決定
- 22日 ○ニクソン米大統領、国際経済報告を議会に提出
○英国、インフレ抑制法成立
○オランダ、現金準備制度を再発動(22～28日、6%)
○インドネシア国民評議会、スハルト大統領を再任
- 26日 ○IMF20か国委員会蔵相会議、ワシントンで開催(27日コミュニケを発表)
○英国政府、所得政策(第2段階)実施細目に関する白書を発表
- 29日 ○米国政府、食肉価格の規制を強化
- 30日 ○フランス、暫定物価措置を発表(4月1日から実施)
○マレーシア、北ベトナムと国交樹立
- 31日 ○バングラデシュ援助国会議開催